



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

神仏とは心の中の希望

住職 平田真純

私たちのようにお寺に奉職させていただいている者や、ご信徒の皆様、また神社仏閣を好んで参拝される方々、あるいは自宅でお仏壇・神棚等に必ず手を合わせる方々は、信仰という言葉を用いなくてもそれは日常の事になっていきます。しかしその機縁が薄い方々も世の中にはかなりいらつしやると思います。

自信満々で希望に満ち溢れているときは、「神も仏もいらぬ、頼れるのは自分の力だけだ」と思うことでしょう。そこまでいなくても、神仏に頼るなんて精神的に弱い人間のことだと否定する方も多いでしょう。しかし何かのきっかけで不安に陥ったり、己の力の限界を知ってしまったらすると、一気に自信を失い、心の支えが必要となつてきます。

また、頑張つて努力しても報われなかったり、窮地を脱却できそうもないと、「神も仏もない」という心境に陥つたりします。神仏にも見放されたら、希望を失いそうになってしまいます。

いずれにしても、知らず知らずに神仏は私たちの心

にかかわってきているわけです。そして実は、どんな時でも神仏とは自分の心の中の希望でもあり、信仰とは1%の希望でもふくらませるものにもなりうると思えます。

皆様が、真剣に、懸命に聖天様に祈願をするときは、天災、人災、傷病など、自分の力ではどうにもならず、聖天様にすがるより術がないとき、あるいは事業や出世、試験、その他大事な節目等々、自分が試される機会が訪れるときなどではないでしょうか。自身の無力さ、心の弱点を感じるからこそ、それを克服しようと、自然に出てくる行動であると思えます。

聖天様を通じて、常に希望を保ち続けるにはどのように信仰したらよいか……。まずは待乳山の経本『大聖歡喜天礼拝作法』の三ページ目の「尊天礼拝要心」と巻末の「信者の心得」をよく読んで励行するようにしてみてください。古より伝わる信仰の決めごとは、人を縛るものではありません。心を解き放つためのものであります。迷信めいた解釈をせず、また不必要に神経質にならぬよう、ポイントを押さえて守ってください。

今月の行事から

十月 二十日(日) 十一時

歓喜講大祈禱会法要

皆様の開運招福を祈願する大般若転読祈禱法要を厳修いたします。

諸難を排し、諸願を叶えるといわれる大般若経は、西遊記で有名な中国の三蔵法師、玄奘がインドから中国に持ち帰った、とても尊いお経です。この大般若を転読しご祈念いたします。

お申込みの方には、お名前が入りました歓喜講祈禱札を授与いたします。皆様お誘い合わせの上お申し込みください。

講 金 三、〇〇〇円也

また歓喜講祈禱会記念公演、今回の催しは、十二時半より信徒会館大広間において、ハワイアンではない、ウクレレ弾き語りスタイルで、JAZZや昭和歌謡、オリジナル曲を歌うボーカリスト「りか (Vo. Ukulele)」さんによる特別奉演をお届けします。

観覧は無料ですのでぜひご覧ください。

プロフィール りか (Vo. Ukulele)

二〇〇七年キワヤ商会主催「第四回ジ・ウクレレコンテスト」

パフォーマンス賞受賞。



二〇〇九年「第八回吉祥寺音楽コンテスト」オーデイ

エンス賞受賞。最近では、数多くの経験を持つベテランギタリスト、北川涼氏とのデュオでのライブ演奏に定評がある。りか&北川涼のデュオは二〇一一年結成。翌年八月から、下北沢 Blue moon で毎月行っている『じわり

ライブ』が好評。

日本全国、居酒屋



屋から寿司屋、ラーメン屋、小学校から高齢者施設まで、幅広く、ユニ

ークな場所での音楽活動を展開し続けている。また二〇〇九年より、台東区松葉小学校の課

外授業にて、ウクレレ講師を担当。楽しく弾いて歌う、笑顔の絶えない授業が好評

ご奉納

正座用 座椅子 高岡

京子 様

高岡京子様より、本堂に正座用座椅子を十個ご奉納いただきました。とても安定していただけますので、皆さまどうぞお気軽にお使いください。



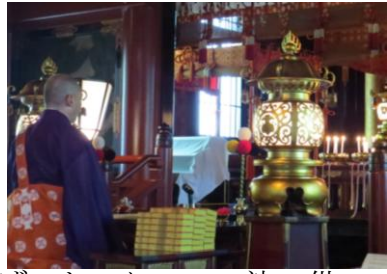
お官参り 八月二十二日 藤澤仁菜ちゃん

残暑の中、行者様より無病息災のお加持を受け、家族仲良く明るい家庭の中で、健やかにご成長されることと思います。



八月二十日(水) 午前十一時

灯明講の法要が執り行われました。



灯明の功德をたたえご
供養する、灯明講大般若
法要が執り行われました。
大般若転読法要が始ま
り、平田住職以下式僧が
お経本を次々と大きく広
げます。

そして法要が行われているご宝前には、金
色の華籠皿の燭台に灯明が灯されています。
これは信徒会館大玄関前より当講の世話人に
よって本堂まで運ばれ献灯されたもの。
住職の法話が終わり内陣での焼香が始りま
した。そしてお供えされた燈明が燃え尽きる
頃まで、焼香をされる参拝者の列は絶えませ
んでした。

九月一日(月) 正午

震災供養碑の慰霊法要が行われました。

当山隣の聖天公園にある震災供養碑は戦前

までは当山の境内地にあったもので、碑文は
当時当山が所属していた天台宗のお座主様が
書かれたものです。

毎年九月一日の防災
の日には、関東大震災
の物故者を供養する法
要が行われております。
今年も住職以下二名
の出仕によって慰霊法
要が営まれました。



九月七日(日) 午前九時

朝まいり会の大般若法要が厳修されました。

朝まいり会恒例の大般若法要が、盛大に取
り行なわれました。今年の日曜日に当り、お
よそ七十余名の朝まいり



会の会員が参拝されまし
た。
大般若転読作法が済む
と、堂内の七十余名の会
員が一つになり、太鼓に
合わせ般若心経、観音経

をお唱えいたしました。

朝まいり会継続者に記念品を授与(九月度)

朝まいり会を長く続けられています左記の
方々に、記念品が授与されました。

さらに息の長い信仰を心がけてください。

半年 石川一浩 岩本愛弓

川島知恵子 堀田正明

(敬称略)

七五三参りのご案内

当山では、七五三参りを予約にて受けたま
わっております。



本堂内陣で一家族ごと
に行者様から直々にお加
持をお授けいたします。
お申し込みの方には、お
子様のお名前とお年が入
りましたお守りとお供物
を授与いたします。

特に土日はお申し込みが多い場合がございます。
ます。お早めに寺務所にてご予約ください。

ご志納金 五、〇〇〇円也